

令和 6 年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式及び協議会 議事録

1 日 時 令和 6 年 7 月 25 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分

2 場 所 松戸市中央保健福祉センター 2 階集団指導室

3 出席者

【委員】

会 長	市場 卓	松戸市医師会
副会長	鶴岡 系一	松戸グリーンライオンズクラブ
委 員	武藤 金太郎	松飛台工業会
委 員	岩橋 成明	松戸中央ライオンズクラブ
委 員	水野 武明	松戸東ライオンズクラブ
委 員	大谷 茂範	松戸ユーカリライオンズクラブ
委 員	蔵本 一夫	松戸東ロータリークラブ
委 員	神谷 繁樹	松戸西ロータリークラブ
委 員	富岡 賢祐	松戸青年会議所
委 員	大野 福美	松戸市赤十字奉仕団
委 員	江口 笑美子	北松戸工業会
委 員	近藤 優	松戸商工会議所

【委員欠席者】

委 員	杉戸 一寿	千葉県松戸健康福祉センター
委 員	花輪 茂道	松戸訪問看護の会
委 員	杉浦 章浩	松戸ロータリークラブ
委 員	本清 武人	松戸中央ロータリークラブ
委 員	伊東 好雄	稔台工業会
委 員	川井 光弘	松戸全市工業会
委 員	田茂 牧子	陸上自衛隊需品学校
委 員	勝又 英子	松戸市立松戸高等学校
委 員	尾形 章	松戸市立総合医療センター

【事務局】

健康医療部 部長 大淵 俊介

予防衛生課 課長 清水 二郎 課長補佐 市江 伊知郎 主任主事 吉田 陽子
主任主事 増田 雄大 主任主事 菅野 翔吾

【オブザーバー】

千葉県赤十字血液センター

事業推進一副部長（兼）献血推進課長（兼）千葉出張所長 大橋 恵次

松戸出張所長 木村 弘幸、事業推進一部 献血推進課 推進二係長 腰川 陽佑

4 議 事

(司会)

定刻となりましたので、ただいまより、令和 6 年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式及び協議会を開催いたします。

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。
進行役を務めさせていただきます、予防衛生課 吉田と申します。よろしくお願いいたします。
進行については着座にて失礼いたします。

それでは、初めに本日の配布資料の確認をさせていただきます。まず、本日の次第、席次表、続いて資料 1 松戸市献血推進協議会委員名簿、資料 2 松戸市献血推進協議会会則、令和 6 年度松戸市献血推進協議会議案書、日本赤十字社発行の『愛のかたち献血』、『千葉県 の供給・献血状況』と『ドナー通信』、最後に、前年度に作製致しました献血協力者への記念品と広報用ポケットティッシュのサンプルでございます。

以上となりますが、資料の不足はございませんでしょうか。

続きまして、次第 2、委嘱状の交付を行います。

令和 6 年度松戸市献血推進協議会の委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。委員におかれましては、そのまま自席にてお待ちくださいますようお願い申し上げます。また、失礼ながら事務局より、お名前をお呼びいたしますので、自席にてご起立くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。なお、委嘱状交付は名簿登載順となります。

それでは、健康医療部長 大淵より委嘱状の交付をさせていただきます。大淵部長よりお願いします。

武藤 金太郎委員、市場 卓委員、岩橋 成明委員、水野 武明委員、大谷 茂範委員、鶴岡 系一委員、蔵本 一夫委員、神谷 繁樹委員、富岡 賢祐委員、大野 福美委員、江口 笑美子委員、近藤 優委員

本来なら、お一人お一人に委嘱状を交付すべきところでございますが、本日は代表者の方お一人に交付するということでご了承賜りたいと存じます。委員の皆様を代表いたしまして、武藤 金太郎委員に委嘱状を交付いたします。武藤様、恐れ入りますが前にお越しください。

ー委嘱状 交付ー

(司会)

ありがとうございました。委員の皆様、どうぞおかけください。

他の委員の皆様につきましては、委嘱状をお手元にお配りしましたのでご確認のうえお納めください。また、本日ご欠席の委員の皆様には、後日郵送させていただきます。

続きまして、次第 3 健康医療部長 大淵より、ご挨拶申し上げます。

(健康医療部長大淵)

改めまして、こんにちは。松戸市健康医療部長の大淵でございます。

本日はお忙しい中、松戸市献血推進協議会にご出席賜り誠に有難うございます。また日頃より、本市の献血活動に対する皆様のご協力とご尽力に厚くお礼申し上げます。

令和 5 年度の統計資料を見ますと、成分献血と全血献血を合わせ、全国で延べ約 500 万人の方、また千葉県内におきましては延べ約 23 万 6 千人の方が献血にご協力くださいました。

血液は医療現場において欠かせない貴重な資源です。献血血液のおよそ半分は輸血に使用される輸血用血液製剤に、残りの半分は血漿分画製剤という医薬品を造るために使用されるとのことでございます。これらの血液製剤は健康な方々から自発的に無償で血液を提供していただくことで我が国の血液事業は成り立っています。皆様方のおかげで、多くの命が救われ、希望が届けられていると思います。

しかしながら、近年は少子高齢化の影響もあり、安定的な血液供給が難しい状況に直面しています。高齢化が進めば、医療や介護の需要が高まる為、それに伴い、血液製剤の需要も高まり供給が間に合わなくなるのではないかと懸念されております。

一方で、私も定期的に献血をさせていただいておりますが、新型コロナウイルスが 5 類に移行した後、若い方のみならず、初めて献血される方が増えているように感じているところでございます。

献血推進協議会委員の皆様におかれましては、当市における献血推進事業の牽引役として引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、本日は、関係団体等それぞれのお立場からご意見をいただき、活発な議論が行われますことを願ひまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

(司会)

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和 6 年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式を終了いたします。引き続き、協議会を開催いたしますが、大淵部長は、公務の都合により、ここで退席させていただきます。

これより、令和 6 年度松戸市献血推進協議会を開催いたします。はじめに、事務局長である予防衛生課長 清水より職員の紹介をさせていただきます。清水課長お願いいたします。

(清水事務局長)

皆様、改めましてこんにちは。予防衛生課長の清水でございます。

本日はお忙しい中、松戸市献血推進協議会にご出席賜り誠に有難うございます。松戸市献血推進協議会におきましては、市内の関係機関、企業、各種団体の皆様のご協力のもと市内各所で献血事業を行い、貴重な血液の確保に努めていただいているところでございます。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

これだけ科学技術が進歩した今日でも、血液だけはまだ人口的に造ることができず、

長期保存も出来ません。また、献血者の健康を守るため、1 人の方が 1 年間に献血できる回数や量には限りがありますし、献血可能年齢にも上限がございます。委員の皆様におかれましては、当市における献血推進事業に引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。私ども事務局職員も 7 月 3 日に松戸市役所で行われました献血に参加をさせていただきました。

委嘱期間の更新に伴いまして、新しい委員の皆様をお迎えしたところでありますが、本協議会につきましては、健康医療部予防衛生課が事務局を担っております。委員の皆様が一堂に会しておりますので事務局職員の紹介を私から行わせていただきたいと思います。

まず、課長補佐の市江でございます。次に担当の主任主事吉田でございます。同じく担当の主任主事菅野でございます。同席させていただきます予防衛生課の主任主事増田でございます。このメンバーで協議会の事務を担ってまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。簡単ではございますが、紹介とご挨拶とさせていただきます。

(司会)

ありがとうございました。

本日はオブザーバーとして、千葉県赤十字血液センター様にお越しいただいております。事業推進一副部長 兼 献血推進課長 兼 千葉出張所長の大橋 恵次様

(千葉県赤十字血液センター 大橋様)

千葉県赤十字血液センターの大橋でございます。松戸市献血推進協議会の委員の皆様、日頃より献血のご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。本日は、後ほど千葉県における献血状況についてご報告をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(司会)

松戸出張所長の木村 弘幸様

(千葉県赤十字血液センター 木村様)

松戸出張所、いわゆる松戸献血ルームの木村です。皆様からのご支援をいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

(司会)

事業推進一部 献血推進課 推進二係長の腰川 陽佑様でございます。

(千葉県赤十字血液センター 腰川様)

千葉県赤十字血液センター献血推進課の腰川でございます。私は松戸市を窓口として担当させていただいております。私の業務上、皆様との関わりがこれからも多くなると思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(司会)

千葉県赤十字血液センター様にはこのあと議題終了後にご講演をお願いしています。

続きまして、次第 5 委員の皆様より一言ずつ自己紹介をお願いいたします。恐れ入りますが、武藤委員より、反時計回りに一言ずつお願いいたします。

(武藤委員)

皆様こんにちは。松飛台工業会で献血推進をしております武藤と申します。松飛台工業会はようやく先々週に献血を実施することができました。10 月以降にもう一度実施を予定しております。マブチクラブさんから許可が得られないような状況なので、もう一度工業会の会長を含め協議しておりますので、間違いなく秋口 10 月頃には献血の開催をしたいと考えております。お近くの方はご協力をいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

(市場委員)

松戸市医師会から参りました市場と申します。松戸市内で内科医をしております。よろしくお願い致します。

(岩橋委員)

松戸中央ライオンズクラブの岩橋と申します。例年、松戸献血ルーム Pure さんで毎月松戸市内の障害者の就労支援施設での生産品を献血者への記念品として購入してお配りをしております。また、毎月第三日曜日は松戸中央ライオンズクラブデーとして皆さんご存じの松戸市公式キャラクターの『松戸さん』が献血を呼びかけることをしております。あとは、その日限定の記念品を差し上げるという事もしております。あと、初めて献血をされる方には松戸さんの記念品を差し上げるという事で微力ながら活動をさせていただいております。よろしくお願い致します。

(水野委員)

松戸東ライオンズクラブの水野です。うちのクラブは設立して 43 年、その時から新松戸で年 2 回の献血を行っており、80 数回くらい行っております。こちらの委員も結構長く務めさせていただいております。どうぞよろしくお願い致します。

(大谷委員)

松戸ユーカリライオンズクラブの大谷です。よろしくお願い致します。うちのクラブは年に 2 回 3 月と 7 月に新松戸のイオンフドスタイル店の前で献血活動をやらせていただいております。あと、月 1 回松戸献血ルーム Pure さんのほうでも広報を行っているというような状況です。先週も暑い中やらせていただきまして、うちのメンバーも高齢化してきておりまして、献血のできるメンバーが限られておりますので、私が協力をさせていただきました。呼び込みもなかなか暑くて来る方が少ないのかなと感じましたが、けれども今後ともご協力できればと思っております。

(鶴岡委員)

松戸グリーンライオンズクラブの鶴岡と申します。当クラブも年 1 回 11 月の予定で献血の実施を考えております。少しでもご協力できればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(近藤委員)

松戸商工会議所青年部の会長を務めております近藤優と申します。献血活動を積極的に行って参りたいと思っておりますので、本日はよろしくお願い致します。

(江口委員)

北松戸工業会の事務局を担当しております江口と申します。今期も企業さんに献血車をお迎えして献血を実施したいと思っております。よろしくお願い致します。

(大野委員)

こんにちは。松戸赤十字奉仕団の大野と申します。結果発表になりますが、松戸赤十字奉仕団では呼びかけを 1 年間に 119 回行ってまいりました。市川市が 5 月で抜けられたので、鎌ヶ谷と流山と松戸と 3 か所を合わせますと 160 回くらいになります。呼びかけしかできませんが、みんな暑い中頑張っております。

けんけつちゃんもパリコレデビューしましたよね。それがみんなの中で非常に話題となりました。世界的なことなので向こうの方も献血は大切だという事を感じられたと思います。普通は持つというのは無理だそうなのですが、直談判してぬいぐるみを一緒に連れて行ってパリコレでランウェイデビューしたのですね。それが本当に皆さん刺激になりまして、これはやらなければならないとなったのですね。皆様もおっしゃるように高齢化なので人も少ないのですが、老体に鞭打って頑張っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

(神谷委員)

松戸西ロータリークラブの神谷繁樹です。委員として今年で 2 年目になります。クラブで献血を呼びかけておりますが、高齢化が進んでいるクラブでして、70 歳を超えると献血ができませんので若い人の応援が必要だと感じます。よろしくお願い致します。

(蔵本委員)

こんにちは。松戸東ロータリークラブの蔵本です。よろしくお願い致します。当クラブと致しましては、クラブとしてなかなかご協力出来ない状況が数年続いておりますが、コロナも明けましたし、今年は動ければと思っております。できるだけご協力できるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

(富岡委員)

松戸青年会議所の今年度の財務コンプライアンス担当理事という会計の仕事を務めております富岡と申します。よろしくお願い致します。

(司会)

皆様、ありがとうございました。

なお、本日、杉戸委員、花輪委員、杉浦委員、本清委員、伊東委員、川井委員、田茂委員、勝又委員、尾形委員は、都合により欠席されとの連絡をいただいております。

それでは、議題を進めるにあたり、はじめに、松戸市献血推進協議会についてご説明させていただきます。資料 1「松戸市献血推進協議会委員名簿」をご覧ください。

今年度は 21 名の委員の皆様に協議会を構成いただいております。昨年度から引き続き、委員をお引き受けくださいました方が 12 名、新たに委員をお引き受けくださいました方が 9 名となっております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、会長・副会長の選任に移らせていただきます。

資料 2「松戸市献血推進協議会会則」の第 5 条第 2 項の規定により委員の皆様方の互選で決定いただくこととなっております。どなたか立候補若しくは推薦はございますか。

(水野委員)

松戸東ライオンズクラブの水野です。推薦をさせていただければと思います。

今回、委員の大幅な入れ替えを考慮しまして、また松戸市医療事業にご尽力いただいている松戸市医師会の市場委員に引き続き会長をお願いしたいと思います。

また、これまで長年、主催団体として献血事業に取り組んでおります松戸グリーンライオンズクラブの鶴岡委員に副会長をお願いしたいと思います。

(司会)

ただ今、市場委員を会長に、鶴岡委員を副会長に推薦とのご発言がございましたが、皆様いかがでしょうか。特にご意見がなければ、お願いしたいと思います。

市場委員いかがでしょうか。

(市場委員)

了承します。

(司会)

鶴岡委員いかがでしょうか。

(鶴岡委員)

了承します。

(司会)

それでは、今年度の役員体制につきましては、
会長 市場委員、副会長 鶴岡委員をお願いいたします。快くお引き受けいただきまして、

ありがとうございます。会長と副会長には、お手数ですが会の進行もでございますので、お席のご移動をお願いいたします。

それでは、会長、副会長からご挨拶をお願いいたします。市場会長よろしくをお願いいたします。

(市場会長)

松戸市医師会から参りました市場といいます。私は医者ですので、血液を使用している側となります。血液を供給する側として今日お集まりの皆様のご尽力があつて、我々は血液を使用させていただいているという立場でございます。引き続き皆様のご尽力により献血事業がますます推進されることをお願いさせていただきます。よろしくお願い致します。

また、毎回赤十字の方からご講和いただいておりますので、千葉県の現状や血液事業の実態を勉強させていただいております。本当にありがとうございます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

(司会)

ありがとうございました。続きまして鶴岡副会長、よろしくお願いいたします。

(鶴岡副会長)

改めまして、松戸グリーンライオンズクラブの鶴岡と申します。恥ずかしながら、献血推進協議会というものを今回、話をいただいて初めて知りました。ライオンズクラブの方で献血の呼びかけなどはさせていただいていたのに、大変申し訳ないと思います。またこれから勉強させてもらいたいと思っております。よろしくお願いします。

血が足りない状況というのはかなり感じておりまして、私も先日、松戸献血ルームさんから直接電話をいただいて、O型の血が足りないのでご協力くださいということでした。少しでもご協力出来たらと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

(司会)

ありがとうございました。それでは、会則第7条の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、これからの議事につきましては、会長に議長をお願いしたいと存じます。

市場会長、よろしくお願いいたします。

(市場会長)

議題に入る前にお知らせいたします。この協議会は、松戸市情報公開条例第32条により、公開といたしまして、傍聴も可能であることをお知らせいたします。本日の傍聴に関して、事務局より報告願います。

(事務局)

傍聴の希望はありませんでした。

(市場会長)

それでは、議事に入りたいと思いますが、事務局から補足事項はありますか。

(事務局)

議案第 1 号から第 4 号に関する質問等への補助説明について、千葉県赤十字血液センター職員が発言することに関し、許可を頂きたいと思います。

(市場会長)

事務局より申し出がありましたが、許可してよろしいでしょうか。

－異議なし－

(市場会長)

異議がないので許可します。これより議題に入ります。

議案第 1 号令和 5 年度事業報告、議案第 2 号令和 5 年度事業決算報告についての審議・承認を行い、その後、議案第 3 号令和 6 年度事業計画（案）、議案第 4 号令和 6 年度事業予算（案）についての審議・承認を行います。なお、承認については拍手をもって行いますのでよろしくお願いします。まず、議案第 1 号令和 5 年度事業報告について事務局より、説明をお願いします。

(事務局)

松戸市の事業報告に先立ちまして、令和 5 年度における全国の献血者数についてご報告いたします。成分献血、400ml/200ml 献血を合わせまして全国で延べ 5,009,281 人の方にご協力いただきました。献血量に致しますと 2,237,120ℓでございました。この内、千葉県におきましては、成分献血、400ml/200ml 献血を合わせまして延べ 236,025 人の方にご協力いただいております、献血量に致しますと 105,092ℓでございました。千葉県全体で見ますと前年比 101.6%という状況でございました。

続きまして、令和 5 年度松戸市の事業報告に移らせていただきます。

「令和 6 年度松戸市献血推進協議会議案書」1 ページをご覧ください。令和 5 年度松戸市移動献血実績についてご報告いたします。ご覧いただいております表 1 から表 4 につきましては、松戸市献血推進協議会による献血も含めました松戸市内全体の移動献血車による実績となっております。

表 1 にありますように、令和 5 年度は松戸市内 51 会場で移動献血を実施いたしました。令和 5 年度は前年と比べ 212 人多い、1,931 人の方にご協力いただいたという結果でございます。献血量の目標に対する達成率は、36.7%となっております。

表 2 につきましては、松戸市内における男女年齢別の献血実施人数となります。男性は 40 代の方、女性は 50 代の実施者が多い結果となりました。また 10 代、20 代の多く

の若い年代の方にも協力いただきました。

2 ページの表 3 にありますように、男女合わせて 1,931 人の方が献血を実施し、200ml 換算で 3,791 人分の血液を確保することができました。

次に、表 4 の団体別内訳では、事業所での実施回数が 20 回と最も多く、実施者数については 743 人と全体の約 4 割を占めております。

表 5 につきましては、市内の病院の血液の利用状況を示したものとなります。松戸市総合医療センターと市内の他病院を合わせ、124,792 単位の血液を利用いたしました。

続きまして、3 ページの表 6 が松戸市献血推進協議会所属の実施結果となっております。下段にありますように、合計延べ 26 回、実施者は男性 751 人、女性 227 人、合計 978 人という結果でございました。松戸市内の全ての移動献血実績のうち、松戸市献血推進協議会が占める割合は 200ml 換算で 50.9%でした。松戸市内における令和 5 年度の移動献血実績のうち、松戸市献血推進協議会所属団体でおよそ半分の血液を確保いただいているというデータとなります。

続きまして、4 ページの表 7 をご覧ください。こちらが令和 5 年度に松戸市内において献血を実施した会場となります。本協議会の所属団体以外が実施した場所も記載してございます。これまでの協議会において献血会場の確保が難しいとのご意見がございましたので、今後の献血実施の際に参考になれば幸いです。

続きまして、令和 5 年度に松戸市にて行った取り組みについて皆様と共有させていただきたいと思っております。

令和 5 年 7 月に行われた「愛の血液助け合い運動」と 3 月に行われた「千葉県献血推進強調月間」の時に市内 47 か所に啓発ポスターを掲示致しました。また、赤十字血液センターの広報ポスター及び松戸献血ルームの案内ポスターも庁内に掲示させていただいております。

また、市内にございます学校法人 日通学園 流通経済大学新松戸キャンパス、学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 聖徳大学短期大学部、日本大学松戸歯学部 及び 千葉大学園芸学部松戸キャンパスの市内 4 大学には「はたちの献血」キャンペーンの広報用ポスターを送付させていただきました。

この他、「松戸市二十歳の成人式」におきましては、スライド形式にて松戸献血ルームの PR 画像を投影致しました。前方のホワイトボードにそれぞれポスターを掲示致しましたので、ご覧いただければと思います。

続きまして、ポスター掲示以外の取り組みについてご紹介させていただきます。広報活動と致しまして、松戸献血ルームで行いましたキャンペーンについて市の公式 SNS でも広報をさせていただきました。

また、今年の献血推進協議会にて松戸市のキャラクター『松戸さん』が松戸献血ルームで献血手順を紹介する Youtube 動画をご紹介いただきました。こちらの Youtube 動画を松戸市の公式ホームページ『献血推進事業』というページでも公開させていただきました。『松戸市 献血推進事業』にて検索いただけるとご覧いただけるかと思っておりますので、委員の皆様も是非一度ご覧いただければと思います。

松戸市役所献血当日の広報活動と致しましては、令和 5 年度よりすべての課を回って呼びかけを行いました。これまでも庁内デジタル掲示板、ポスター掲示、庁内放送を行

っておりましたが、令和 5 年度よりすべての課を回って呼びかけを行ったところ、全 4 回の実施において約 20 名ずつ献血者を増やすことができました。令和 4 年度と比較し 85 人増加の計 283 人の方にご協力いただくことができました。しかし、ご協力いただく方が増えたことにより献血までの待ち時間が長い、休憩スペースが狭い等の課題も出て参りました。

そこで令和 6 年度における市役所本館前での献血では赤十字血液センター様のご協力を得て献血バスを 1 台から 2 台体制に増やし、献血後の休憩スペースとして他部署より給湯室を新たに借用させていただくことになりました。

また、こちら中央保健福祉センターで献血を行った 1 月は待ち時間が長くなってしまった為、3 月に実施した際は従来の献血バスではなく実際にこちらのお部屋に受付や待機席、医師による問診スペース、看護師による本採血前の検査のスペース、採血用ベッド 6 台を搬入し、オープン採血という方法に切り替えることで待ち時間の短縮や混雑の緩和を図りました。

令和 5 年度におきましては、1 月と 3 月の献血実施時に骨髄ドナー登録も並行して行っており、それぞれ 6 名ずつ計 12 名の登録がございましたことも合わせてご報告させていただきます。

令和 5 年度松戸市移動献血実績・議案第 1 号につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、議案第 2 号まで報告した後に時間を設けますのでよろしくお願い申し上げます。引き続きまして、議案第 2 号令和 5 年度事業決算報告について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、議案書の 5 ページをご覧ください。令和 5 年度事業決算についてご報告いたします。収入金額は前年度繰越金および活動費助成金、合わせて 95,991 円、支出金額は昨年度の献血推進協議会におけるお茶代 2,047 円、献血記念品代 52,272 円、差引残高は 41,672 円となっております。

以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。それでは、議案第 1 号令和 5 年度事業報告、議案第 2 号令和 5 年度事業決算報告の審議に入ります。質疑のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(市場会長)

では、私から質問させていただきます。献血の目標はどのようにして設定されているのでしょうか？達成率 36%という厳しい状況が続いておりますので、目標の定め方について伺いさせていただければと思います。

(事務局)

献血の目標値は国からそれぞれの県に割り当てられた目標量に基づいております。令和 6 年度に国から千葉県に割り当てられた目標献血者数は 229,702 人でした。このうち、千葉県が各市町村の献血可能昼間人口比率により按分し、松戸市に割り当てられた人数が目標献血者数として定められております。

千葉県赤十字血液センター様より補足がございましたら、よろしくお願い致します。

(千葉県赤十字血液センター)

千葉県赤十字血液センターの大橋でございます。目標数値の設定に関しては今の説明のとおりです。しかしながら、松戸市には献血ルームもございますし、県の方からは集計に関して詳細な報告が示されておられません。これは私ども血液センター独自で調査しております。令和 5 年度の 4 月～3 月までの 1 年間でございますが、千葉県内で献血にご協力いただいた各市町村の居住地入りの献血者を調査しております。先ほど昼間人口というお話がございましたけれども、本来であれば 16 歳～69 歳までの献血対象の年齢人口から割り出すのが良いので、国勢調査等いろいろと調べるのですが、その数字を拾えない年もございます。

松戸市に関しては県全体の 7.9%、昨年 12 月時点での私どもの人口率データですので、497,778 人の人口に対して、千葉県の献血者数が 236,025 人のうちの 6.8%、松戸市の住民 1 万 5646 名が献血者数です。人口の割合が 7.9%で、献血者数で言いますと千葉県内をお願いをしている方は 6.6%となります。ただ、この数字もちょっと不十分でございまして、松戸市の立地を考えますと献血をお願いできる世代の方は都内や県外に行って献血をされている方のデータが加わっておりません。一方で、このデータを見るとおそらく人口の割合以上の数値になります。先ほどの資料でお示しされていた通り、平成 30 年から見ると献血バスの配車数は半減しています。一方、献血にご協力いただく方はそんなに大きな開きがないので、市のご支援もあり稼働効率を高めている状況です。県から求められている数字からはかなり乖離していますが、実態としては人口割合以上の献血協力者が得られていると血液センターとしては認識しております。これに関しては、千葉県が設定する数字はいかななものかなという思いはありますが、こういう形で計算されております。一方、血液センターとしての調査は毎年進めているところでございますので、県が示した数字よりかは実態に近い数字になるのかなと思います。以上です。

(市場会長)

ありがとうございます。少し安心しました。それでは、他に質問が内容であれば承認に入ります。議案第 1 号、議案第 2 号を承認される方は拍手をお願いします。

ー拍手ー

(市場会長)

拍手多数により、承認されました。

続きまして、議案第 3 号令和 6 年度事業計画（案）について、事務局より説明をお願い

いします。

(事務局)

それでは、議案書の 6 ページをご覧ください。令和 6 年度事業計画（案）についてご説明いたします。まず、松戸市全体の献血目標としましては、実施者数 5,242 人となりまして、献血量の 200ml 換算で 10,328 人となっております。この目標値は国から県に割り当てられた目標量に基づいて、千葉県が各市町村の献血可能昼間人口比率により按分し、目標献血者数として定められているものです。

次に業務目標といたしまして、1 広報、2 ポスター掲示、3 献血予約の呼びかけ、4 献血の啓発及び呼びかけを挙げさせていただきました。

1 広報では、昨年同様広報まつど及び松戸市ホームページに献血に関するお知らせを掲載してまいります。また、松戸市公式 X(旧 Twitter)及び松戸市公式 Facebook を活用し、献血日程や松戸献血ルームの周知活動を行ってまいります。また、新たな取り組みとして松戸市役所献血前には広報用チラシを封入したポケットティッシュを配布致します。お手元に先日、7 月 3 日の松戸市役所献血時に使用したサンプルをお配りしておりますので、ご覧ください。封入したチラシに QR コードを付け、携帯電話等で読み込んでいただくと直接予約ページにつながる形となっております。松戸市役所献血を行わない時期に関しては、松戸献血ルームの広報チラシを封入して配布したいと考えております。

続きまして、2 ポスター掲示では、「愛の血液助け合い運動」及び「千葉県献血強調月間」の際に市内の公共施設 47 か所にてポスター掲示を行うことで献血の啓発を図ります。議案書 7 ページの表 8 をご覧ください。こちらがポスターの掲示を行う市内の公共施設一覧となります。

また、若年層に対しての献血の周知・啓発として、令和 6 年度も学校法人 日通学園 流通経済大学新松戸キャンパス、学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 聖徳大学短期大学部、日本大学松戸歯学部 及び 千葉大学園芸学部松戸キャンパスに献血啓発ポスターの掲示を昨年に引き続きお願いをする予定です。

続きまして、3.献血予約の呼びかけを目標に掲げさせていただきました。予約を推進することで、待ち時間の解消による献血者の利便性の向上及び献血会場の混雑緩和を目指していきます。

4.献血の啓発及び呼びかけといたしましては、松戸市役所にて献血を実施する際にこれまでもポスター掲示、庁内デジタル掲示板での周知、庁内放送を行ってまいりましたが、これらの取り組みに加え、今年度もすべての課をまわって献血の呼びかけを行ってまいります。呼びかけを行う際には、3 点に重きを置いて広報をしたいと考えております。

まず、1 点目として、献血にご協力いただくと赤十字血液センターからのサービスとして検査成績を見ることができる為、ご自身の健康管理に役立てられることをアピールしていきます。

日本赤十字社発行の『愛のかたち献血』こちらの冊子の 17 ページをご覧ください。献血後、2 日～5 日程度でラブラッド会員の方は WEB 又はアプリ上で生化学検査 7 項目、

血球計数検査 8 項目の検査成績をご覧ください。血液検査の結果を知ること、献血者自身の健康管理にお役立ていただけることをお知らせしていきます。

次に、2 点目として花粉症の時期に服薬していても献血可能な場合が多いことをご知らせしていきます。

例年、春先は献血者数が減少傾向にある為、千葉県は 3 月を献血推進強調月間と定めております。また、4 月は新年度という事もあり献血者数が落ち込みがちになります。春先は花粉症により抗アレルギー薬を服薬されている方が多い為、市販の花粉症・アレルギー性鼻炎薬、アレグラ、アレロック、ジルテック等の服用は献血可能であることをお知らせしていきます。ただし、薬の種類や病気の内容によっては献血者自身の健康を考慮し、献血を遠慮いただく場合もございますので、問診医が判断する形となります。

最後に 3 点目として、400ml 献血をお願いしていきます。

医療機関から要請される輸血用血液の 95%は 400ml 献血の血液という実情がございます。例として 800ml の輸血が必要な患者様がいた場合、400ml 献血由来の血液製剤では 2 人分となりますが、200ml 献血由来の血液製剤では 4 人分必要となります。人間一人ひとりの血液はたとえ血液型が同じでも微妙に違っているため、複数の献血者の血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど副作用発生の可能性が高くなってしまいます。献血いただく方のご意思を尊重し、献血によって体調を崩すことのないよう、問診により健康状況について慎重に確認したうえで、400ml 献血のご協力をお願いしております。

一方で、200ml 献血のみが対象となる高校生等若年層の方に対しては年齢が若いうちに献血経験をいただけると将来の献血行動に結びつきやすいことから 200ml 献血の協力は若年層や初回献血者、献血に不安がある方をお願いしております。

次に、議案書の 8 ページに令和 5 年度松戸市献血推進協議会所属の献血実施計画案をお示ししましたので、併せてご確認ください。

事業計画案につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、議案第 4 号まで報告した後に時間を設けますのでよろしくお願いします。それでは最後に議案第 4 号令和 6 年度予算(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

議案書の 9 ページをご覧ください。令和 6 年度事業予算(案)についてご説明いたします。歳入につきましては、前期繰越金 41,672 円と日本赤十字社千葉県支部からの「活動費助成金」の 50,000 円になります。

歳出につきましては、献血推進事業費として、献血実施者への粗品関係費用で 70,000 円、その他に会議費、活動費、予備費といたしまして、歳入歳出ともに合計 91,672 円と見込んでおります。以上になります。

(市場会長)

それでは、議案第 3 号令和 6 年度事業計画(案)、議案第 4 号令和 6 年度事業予算(案)

の審議に入ります。質疑のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(市場会長)

よろしいでしょうか。では以上で審議を終わります。次に承認に入ります。議案第 3 号、議案第 4 号を承認される方は拍手をお願いします。

ー拍手ー

(市場会長)

拍手多数により、承認されました。本日の議事内容はすべて終了いたしました。皆様のご協力により、無事大任を果たすことができました。大変ありがとうございました。これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。

(司会)

市場会長ありがとうございました。それでは、次第 8「講話」に移らせていただきます。事業推進一部 献血推進課 推進二係長の腰川 陽佑様よりお願いいたします。

ー講話ー

(司会)

ご講和いただきました腰川様に今一度大きな拍手をお送りしまして、感謝の意に代えさせていただきますと思います。腰川様ありがとうございました。

以上を持ちまして本日の予定は全て終了となります。

本日の会議における議事録につきましては、これまでの郵送に代わり、松戸市公式ホームページ『松戸市献血推進協議会』のページに掲載させていただきます。ご活用いただければ幸いです。

不慣れな進行にもかかわらず、皆様のご協力により滞りなく会を無事終了できました。改めて感謝申し上げます。皆様、ありがとうございました。

お帰りの際は、お手回り品を確認していただきまして、お忘れ物の無いようお願いいたします。市役所新館前の駐車場をご利用の方で、まだスタンプを押していない場合、受付にお声をおかけください。